

# 諏訪湖環境研究センター（仮称）の機能の方向性（案）

## 諏訪湖の水環境保全に係る 調査研究等の現状・主な課題

## 課題解決等に向けて

## センターの機能（業務）案

諏訪湖の近隣地に設置し、諏訪湖を取り巻く状況変化に対応して調査研究を行うとともに、情報発信や環境学習を推進する拠点を設置  
 (①調査研究の充実強化、②環境学習、情報発信の推進、③関係機関との連携強化)

①諏訪湖の水質や生態系については、解明できていないことが多い（貧酸素改善手法、植物・魚類等の状況）。

○調査研究に注力できる体制（知見、人材、人員等）

### 【機能 1】

諏訪湖の水環境・生態系保全に係る測定、調査研究を一体的に実施し充実強化

②諏訪湖の水質・調査研究等のデータが十分活用されていない。

○データの集約・共有・整理  
○データの有機的な活用

県内河川・湖沼等の水環境保全にもつなげる

③県では複数機関に分かれて調査研究が行われており、効果的・効率的な体制となっていない。

○業務集約による一体的な測定・調査研究  
○諏訪湖近隣地への拠点設置（状況把握、測定等効率化、緊急時等対応）

### 【機能 2】

諏訪湖の水環境保全等に係るデータの集約・整理・活用により調査研究を推進

④諏訪湖周でまとまった学習をする仕組みや場がない。

○拠点設置による環境学習の企画・実施  
○誰もが同じ内容を学べる

### 【機能 3】

諏訪湖の水環境保全に係る情報発信や環境学習の新たな場として活用

⑤住民の諏訪湖浄化に対する関心が下がってきている。

○諏訪湖を知ることができる拠点設置  
○関心を高める情報発信

### 【機能 4】

センター機能を発揮するための企画・調整、関係機関との連携強化(ネットワークづくり)

⑥県機関で実施している調査研究内容が住民等に知られていない。

○拠点設置による効果的な情報収集・発信

### 【機能を発揮するため考慮すること】

- 効果的・効率的な組織体制
- 人材の確保・育成

⑦調査研究、環境学習等の推進には、大学、民間団体等との連携が不可欠であるが、十分連携できていない。

○諏訪湖周辺への拠点設置による連携強化  
○調査研究、環境学習等推進のための企画・調整